

7 - 2 元禄地震の震度分布

Intensity Distribution of the Genroku Earthquake of Dec. 31,1703

東京大学地震研究所 宇佐美龍夫

Tatsuo Usami

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

元禄 16 年 11 月 23 日（1709 年 12 月 31 日）のいわゆる元禄地震の新史料がかなり集ったので震度分布図を作ってみた。第 1 図は萩原（1972），第 2 図は筆者（1975）によるものである。第 3 図が今回新たに作ったものである。使用した史料のうち，おもなものは次の二つである。

楽只堂年録 28. 大和郡山にある柳沢文庫所蔵

房総半島南部の元禄地震史料（昭和 53 年 3 月，関東地区災害科学資料センター）

第 3 図で，いわき，小名浜，水戸，宇都宮，前橋，長野，熊谷，静岡，千葉は地点を示すために入れたもので，これらの地点で震度が V であったということではない。この図の解釈については読者に任せることとしたい。

なお，この地震について，二，三の目新しい事実についてのべる。

1. 内藤家平藩の史料によると，小名浜に津波が打上げ，大宝切通しが崩れたという。
2. 甲州で次の被害があった。

御城并町在 潰家 134, 半潰 166, 損 76

郡内 潰家 211, 半潰 115, 死 83, 傷 14

3. 松代で屋敷潰 2 などの被害あり
4. この地震の数時間前，つまり 11 月 22 日の午後 10 時ころ大分付近に地震があり次のような被害があった。

大分城中：別条なし

〃 領分奥郷（現庄内町以西）23 ケ村：死 1, 家潰 273, 同破損 369

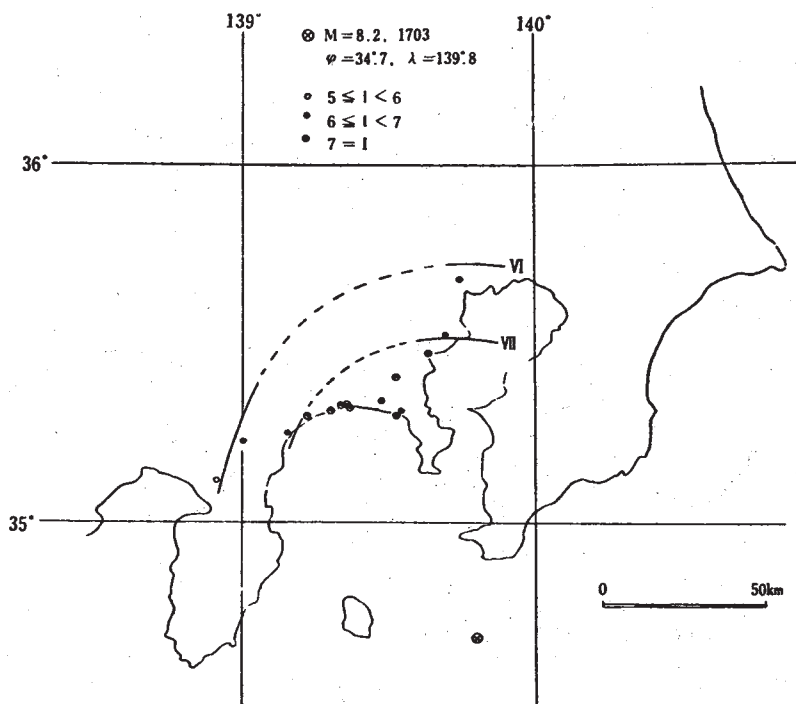
速見郡・大分郡 湯府院など 26 ケ村：潰家 580

上の 4 に示した地震は 1975 年 4 月 21 日の大分県西部地震と被害地が似ているように思われる。

史料の収集・解説に当っては史料編さん所を始め実に多くの方々のお世話になっている。ここに記してお礼を述べる。

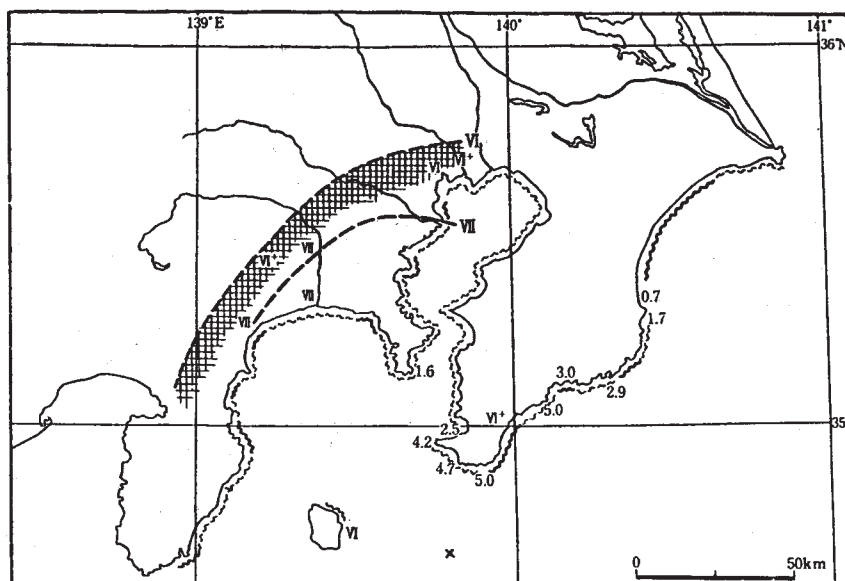
参 考 文 献

- 1) 萩原尊礼：明治27年東京地震，安政2年江戸地震，元禄16年関東地震の震度分布，連絡会報，7（1972），27 - 31.
- 2) 宇佐美龍夫：資料日本被害地震総覧（1975），東京大学出版会



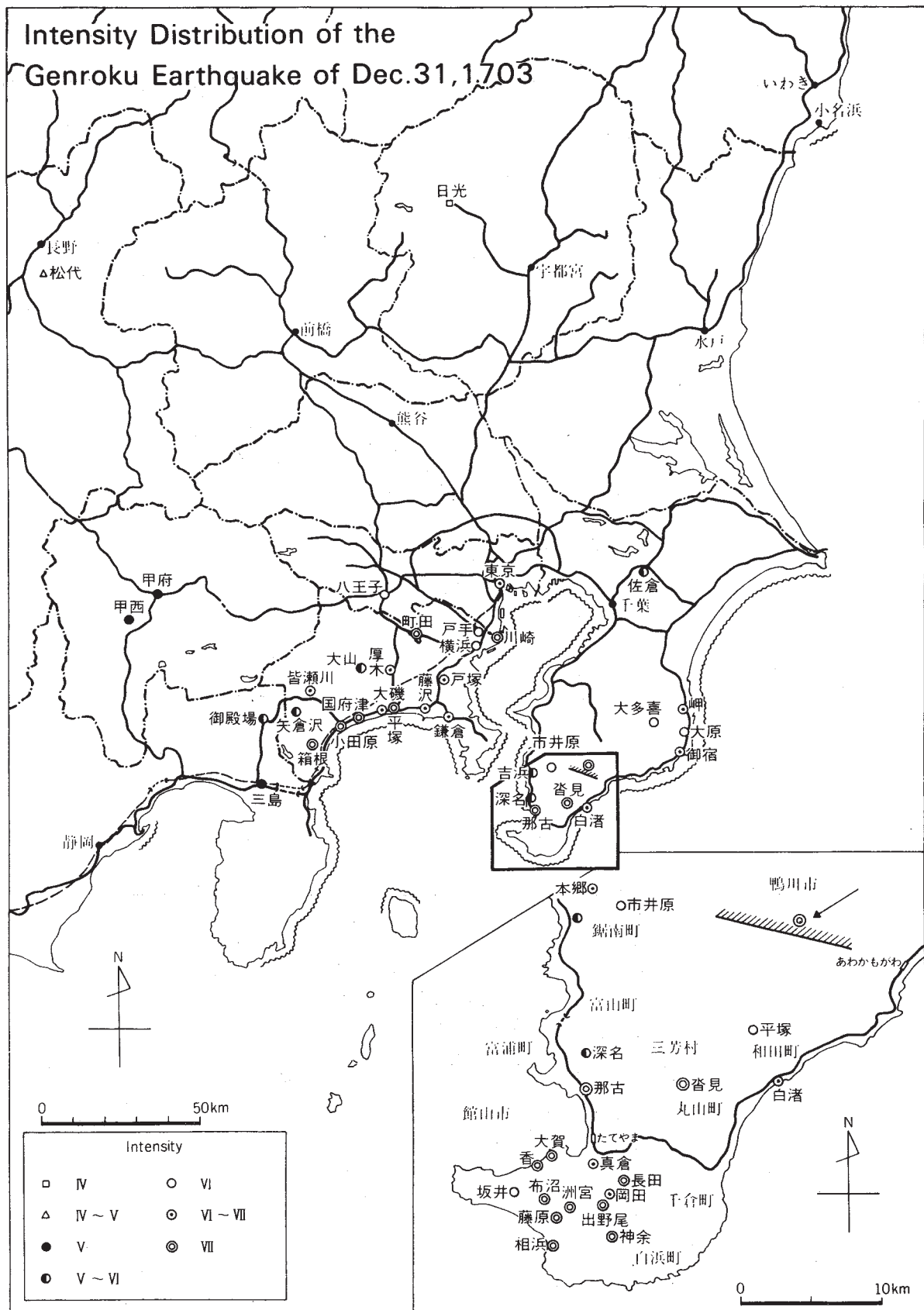
第1図 元禄16年関東地震の震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities of the Kanto earthquake in 1703.



第2図 元禄地震の震度分布図

Fig. 2 Intensity distribution of the Genroku earthquake of Dec. 31, 1703.



第3図 元禄地震の震度分布図（1980年1月改訂）

Fig. 3 Intensity distribution of the Genroku earthquake of Dec. 31, 1703 (revised on Jan., 1980)